

科目名	安全政策論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			法律学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Safety policy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	さとう かつえ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	佐藤 克枝	修得単位	2単位	
授業のテーマ	社会における安全政策について学ぶ。			
到達目標	日本の治安情勢についての理解を深めるとともに、社会の安心・安全のためにどのような政策が行われているかを理解し、自身の立場で貢献すべきことについて考えることができるようになる。			
授業概要	犯罪や災害の現状と対策について、学びます。また、個々の政策等を学びながら、リスクやクライシスマネジメントのあり方について考察します。			
授業計画				
第1回	安全政策論とは (ガイダンス)			
第2回	現代社会とリスク			
第3回	自然災害			
第4回	社会災害			
第5回	環境リスク			
第6回	犯罪予防			
第7回	犯罪対策			
第8回	中間試験・テロ対策			
第9回	防災・減災のためのシステム			
第10回	政府・地方公共団体の防災対策			
第11回	民間の防災システムと事業継続計画			
第12回	被災者支援			
第13回	企業とコンプライアンス			
第14回	諸外国の政策			
第15回	全体のまとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業前には教科書の該当箇所に必ず目を通してください。(2時間程度) 2. 単元毎に、前回講義内容の確認を行います。講義の復習をしっかりと行ってください。(2時間程度)			
履修条件 受講のルール	適宜資料を配布します。講義の際は、前回までに配布した資料を必ず持参して下さい。			
テキスト	授業中に指示します。			
参考文献・資料	警察白書(平成30年版)、犯罪白書(平成30年版)、警察政策学会編『社会安全政策論』(立花書房)、関西大学社会安全学部編『社会安全学入門』(ミネルヴァ書房)、前田雅英『現代危機管理論』(立花書房)			
成績評価の方法	【試験(中間40%、期末40%)、受講態度20%】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 月曜日09:00~10:30・水曜日14:40~16:10・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。			
オフィスアワー	月曜日09:00~10:30・水曜日14:40~16:10			

成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	安心・安全な社会の実現について興味のある学生の積極的な参加を期待しています。実際に安全保障に携わる防衛省及び国民保護計画策定の中心となる自治体の関係者をゲストスピーカーとして招聘することも考えています。